

## 模試と同傾向の出題 ～ベネッセ・駿台模試より～

日本史B

センター試験・第2問 問6

問6 下線部㉔に関連して、大宰府にかかわる出来事に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 12

- Ⅰ 刀伊(女真人)が九州北部に來襲したが、大宰権帥の藤原隆家によって撃退された。
- Ⅱ 政府は九州北部の要地を防衛するために、水城や大野城を築いた。
- Ⅲ 右大臣の菅原道真は失脚し、大宰権帥に左遷されて任地で死去した。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ      ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ      ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ  
④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ      ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ      ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

第3回ベネッセ・駿台マーク模試・第2問 問5

問5 下線部㉔に関連して、古代のこの地域で起こった出来事に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 11

- Ⅰ 瀬戸内海沿岸や大宰府を襲った海賊を、源経基らが平定した。
- Ⅱ 九州北部に來襲した刀伊を、在地の武士たちが撃退した。
- Ⅲ 吉備真備らを乗せた遣唐使船が、瀬戸内海を経て唐に出発した。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ      ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ      ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ  
④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ      ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ      ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

今回のセンター試験の日本史B第2問問6では、大宰府にかかわる出来事について年代順に正しく配列したものを選ぶことが求められた。解答に際しては、「水城」「菅原道真」「刀伊」といったキーワードに着目して、それぞれどの時代の出来事なのか想起する必要がある。九州地方での出来事を時代ごとに整理しておきたい。

第3回ベネッセ・駿台マーク模試の第2問、問5でも、授業や過去のセンター試験でもよく扱われる古代の九州地方から瀬戸内海にかけての地域での出来事を扱い、センター試験同様に年代順に正しく配列したものを選択させる形式で出題した。「刀伊」「吉備真備」「源経基」といったキーワードに着目し、それぞれどの時代のキーワードであるか判断する必要がある。

いずれの設問も外交や地域といった視点で歴史を概観する力を求めており、授業や教科書で学んだ各時代の内容を関連付けて考えたり、歴史の大きな流れとして考察することが必要である。なお、本問(模試)の正答率は41.9%で、誤答の選択肢6のマーク率が33.7%であった。刀伊の入寇の判別に苦戦したことがうかがえる結果であった。基本事項の確実な定着を促し、習得内容を有機的につないでより深く考える力を育みたい。